

第2章 上越市の概況

1 地勢

当市は、新潟県の南西部に位置し、日本海に面する地方都市である。

平成17年1月1日の14市町村の合併により、市の面積は、合併前の上越市(249.24km²)の約4倍の973.89km²となった。市の中心部に広がる高田平野を取り囲むように中山間地域が広がり、市内の11区が過疎地域、大潟区と頸城区を除く全域が特別豪雪地帯^{※15}に指定されている。

当市には、重要港湾の直江津港を始め、陸路として北陸自動車道及び上信越自動車道が走り、平成27年3月には北陸新幹線が開業した。

また、高田平野をえちごトキめき鉄道(株)の妙高はねうまラインが南北に縦断し、直江津から西の海岸線沿いでは日本海ひすいラインが運行されている。さらに、直江津から東の海岸線沿いではJR東日本の信越本線が運行されているほか、犀潟から六日町に向けて、北越急行(株)のほくほく線が運行されている。

図表2-1 上越市の概要



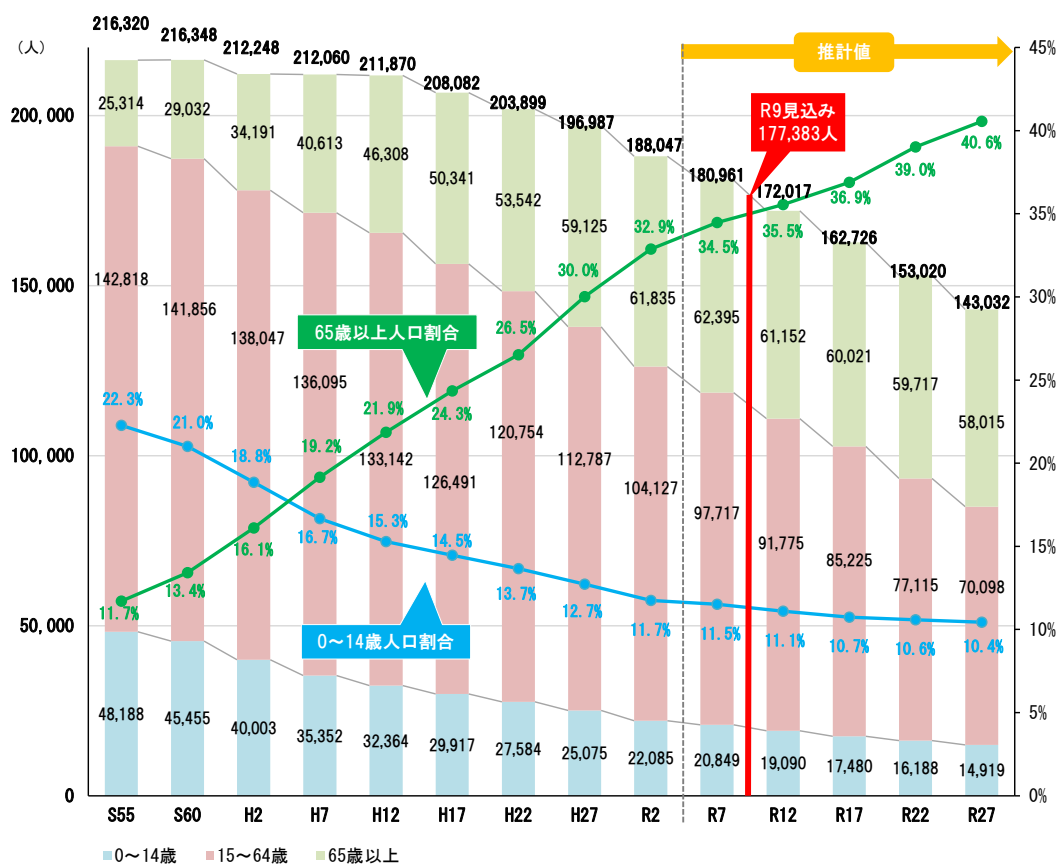
資料：上越市都市計画マスタープラン(平成27年8月策定)掲載の図を加工

2 人口の推移と将来推計

令和5年3月末現在の当市の人口は、約18万4千人で、新潟県全体の8.6%を占めているものの、減少傾向が続いており、本計画が終了する令和9年には、約17万7千人となる見込みである。

このうち、65歳以上の高齢者が総人口に占める割合は、平成30年の32.1%から令和9年には34.9%に高まる一方、15歳未満の年少者が総人口に占める割合は、平成30年の12.2%から令和9年には11.4%に低下すると推計されている。

図表 2-2 総人口の推移と将来推計人口（昭和55年～令和27年）



資料：総務省「国勢調査」及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」（平成30年3月推計）を基に作成

※平成12年以前の数値は、現在の市域に合わせて組み替えたもの

※本計画の目標年次である令和9年の人口推計値は、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」で推計値が公表されていないことから、同推計結果での令和7年と令和12年の男女5歳別人口の増減数を直線的に補間した推計値

（計画策定時との違い：令和2年の人口）

	年少人口（～14歳）	生産年齢人口（15～64歳）	65歳以上人口
推計値	22,959人	104,053人	62,381人
実績	22,085人（▲3.8%）	104,127人（+0.1%）	61,835人（▲0.9%）